

各位

EPS ホールディングス株式会社

EPS グループ第 32 期（2022 年 9 月期 第 2 四半期）業績の概況

1. グループ連結

単位：百万円

	第 31 期	第 32 期（2022/9）				第 32 期（2022/9）	
	第 2 四半期	第 2 四半期				通期予想	
	実績	予算	実績	達成率	前期比	予想	前期比
売上高	35,390	46,854	49,411	105.5%	139.6%	95,782	118.4%
営業利益	3,807	1,743	4,881	280.0%	128.2%	5,616	86.3%
（率）	10.8%	3.7%	9.9%			5.9%	

2. 主要 3 事業業績

単位：百万円

		第 31 期	第 32 期（2022/9）				第 32 期（2022/9）	
		第 2 四半期	第 2 四半期				通期予想	
		実績	予算	実績	達成率	前期比	予想	前期比
基盤	売上高	29,755	38,337	40,591	105.9%	136.4%	78,063	118.7%
	営業利益	5,315	5,232	8,305	158.6%	156.3%	12,426	115.6%
	（率）	17.9%	13.6%	20.5%			15.9%	
探索	売上高	5,915	8,929	8,589	96.1%	145.2%	17,535	112.5%
	営業利益	△164	△517	△357	- %	- %	△1,009	- %
	（率）	-2.8%	-5.8%	-4.2%			-5.8%	
関連	売上高	434	361	384	106.4%	88.5%	1,031	126.3%
	営業利益	△53	△147	△122	- %	- %	△182	- %
	（率）	-12.2%	-40.7%	-31.8%			-17.7%	

基盤事業（CRO/SMO/CSO）においては、懸念していた新型コロナウイルス感染拡大による影響も最小限に留まる一方で、ワクチンや治療薬、副反応調査といった大型案件により、期初予測を大幅に超える業績となった。潮流となりつつあるデジタル技術を駆使した臨床試験の更なる効率・迅速化への取組みも進み、下期以降は新たな仕組みによるサービス提供を目論む。なお、今後も見込まれる需要増に対し、人員確保とともに離職防止策を推し進め、受け入れ体制の強化に努める。

探索事業においては、中国での製薬事業の回復に加え、新たに香港のアパレル企業の M&A など
で大幅な増収となった。今後は、今期から本格的に取り組むバイオベンチャー・アカデミア向け
の創薬支援サービスなどへの投資を進めていく。

関連事業では、新たに中高年人材を対象とした新たな人材サービスや健康食品などの販売等の新
たな試みを開始したところである。

通期での営業利益では減益の予想となっているが、昨期に行ったマネジメントバイアウトの影響
によるものであり、EBITDA*1では大幅な増益を見込んでいる。

*1：EBITDA（イービットディーイー）Earnings Before Interest Taxes Depreciation and
Amortization の略。営業利益に、のれん償却費と減価償却費を加えて算出される利益

3. 主要セグメント業績

単位：百万円

		第 31 期	第 32 期 (2022/9)				第 32 期 (2022/9)	
		第 2 四半期	第 2 四半期				通期予想	
		実績	予算	実績	達成率	前期比	予想	前期比
CRO	売上高	16,717	24,205	25,273	104.4%	151.2%	48,000	124.0%
	営業利益	3,567	3,552	5,281	148.1%	148.1%	7,600	103.6%
	(率)	21.3%	14.7%	20.9%			15.8%	
SMO	売上高	6,700	7,100	7,813	110.0%	116.6%	15,200	108.8%
	営業利益	941	872	1,664	190.8%	176.8%	2,473	125.6%
	(率)	14.0%	12.3%	21.3%			16.3%	
CSO	売上高	6,337	7,032	7,505	106.7%	118.4%	14,863	113.6%
	営業利益	808	809	1,359	167.9%	168.1%	2,350	162.7%
	(率)	12.7%	11.5%	18.1%			15.8%	

【CRO セグメント】

昨期 M&A をした EP クロア（旧 CAC クロア）の業績が加算され、大幅な増収増益となった。また、既存会社の全事業（治験事業、リアルワールド事業、医療機器事業、食品事業）においても、優先契約クライアント等からの依頼・受託が順調に伸び、増収増益・予算達成となった。受注残も過去最高で推移しており、通期予算達成に向け進捗している。

【SMO セグメント】

大型案件の症例登録が大きく進捗したことで売上高、営業利益ともに大幅な予算超過となった。受注に関しても第 2 四半期からは順調に進み、計画を達成している。一方で、供給体制の不足が顕在化しており、人員補充は喫緊の課題といえる。中途採用の強化に加え、離職者低減に向けた取り組みを強化している。

【CSO セグメント】

新型コロナウイルス関連業務の受託が増加し、DI サービスや医薬向けコントラクト MR サービス等が伸長。また、新型コロナウイルス感染拡大による Web セミナーの開催増で、コンプライアンス・サービス等も順調に推移し、増収増益となった。通期でも予算過達を見込む。

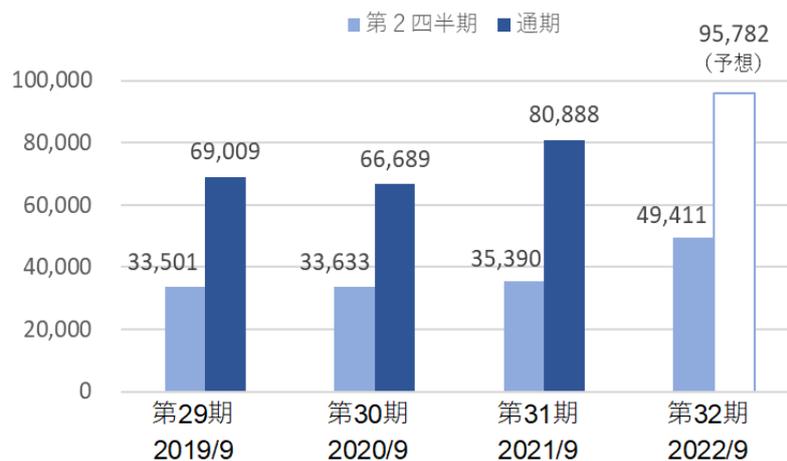
※CRO セグメント：イーピーエス(株)・(株)EP クロア・(株)EP メディエイト・EP 山梨(株)
・マイクレン・ヘルスケア(株)

※SMO セグメント：(株)EP 総合

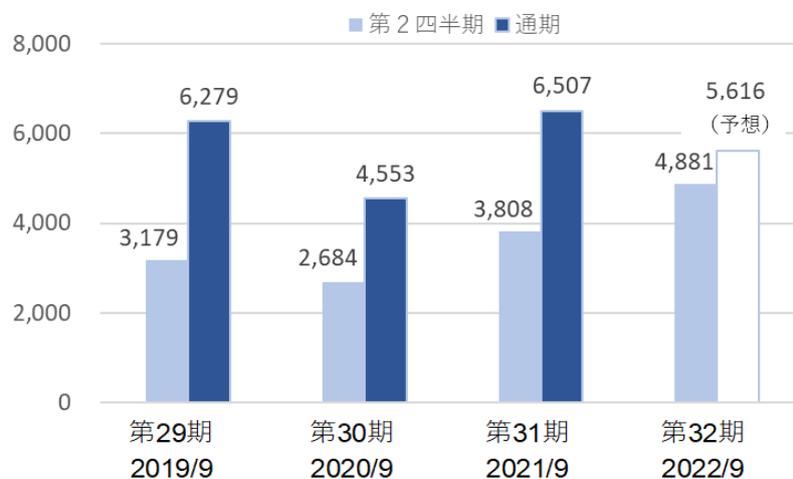
※CSO セグメント：(株)EP ファーマライン・(株)EP フォース

4. グループ連結売上高および営業利益の推移

売上高（単位百万円）



営業利益（単位百万円）



5. グループ社員数、男女比、管理職数（主要セグメント別）

2022年7月1日現在（国内グループ会社）

	社員数	平均年齢 (歳)	管理職数 [※] (男女比)
グループ合計	7429	39.3	1394
男性	2602 (35%)	43.1	732 (53%)
女性	4827 (65%)	37.3	662 (47%)
CRO	3456	37.7	558
男性	1294 (37%)	39.1	340 (61%)
女性	2162 (63%)	36.9	218 (39%)
SMO	1711	37.7	286
男性	280 (16%)	39.2	97 (34%)
女性	1431 (84%)	37.5	189 (66%)
CSO	1668	42.8	335
男性	724 (43%)	50.6	132 (39%)
女性	944 (57%)	36.7	203 (61%)

※リーダー職以上

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

EPS ホールディングス株式会社 広報室

E-mail : pr@eps.co.jp